

日本におけるHIPHOPカルチャーと影響力
貝渕貴也(22011085tk@tama.ac.jp)

1. はじめに

日本の音楽業界でここ数年で今勢いがあるのはHIPHOPだと思う。HIPHOPカルチャーが誕生して30数年でアメリカのヒットチャートを賑わし、莫大なお金を産む産業に発展し、政治にまで影響力をもつ世界的な文化に発展した。若者に人気で中高生の間ではフリースタイルやラッパーに憧れを抱く人も多くなってきている。このように注目を浴びているHIPHOPカルチャーがどの様に日本に浸透し、影響力がどれほどにあるのか気になった。

研究の目的

本研究の目的は、どのようにしてHIPHOPが日本に浸透し影響力があるのかという課題を解決するためである。そのためHIPHOPの歴史、経済効果、日本にいつ浸透したかを調査して課題を解決するためである。

2. 研究方法

書籍や論文をもとに、歌、ダンス、カルチャー、ファッションなどの分類を行う。それをもとに、経済効果や浸透した時期、影響力を調査する。

3. 仮説と予測

HIPHOPの持つ影響力について、30年の

歴史と、それまでの変化、黒人の文化であったHIPHOPが全米を巻き込んで一大産業となり、莫大な利益を生み出すマネーゲームとなり、多くの若者に支持されるアーティストやプロデューサーが政治的な発言や取り組みをするようになり、それが日本にも浸透してきている。これからますます影響力を持ち、HIPHOPの莫大ブームが来ると考える。

4. 今後の予定

7, 8, 9, 10月で書籍や論文をもとに資料調査を行う。

11, 12, 1月で調査した資料をもとに論文を書き始めていく。

2, 3月で添削や調整を行い仕上げる。

参考文献

[Microsoft Word - 1K06B028.docx \(waseda.jp\)](#)